

令和七年度 京都府公立高等学校入学者選抜

前期選抜学力検査

共通学力検査

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の**答の欄**に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧書きなさい。
- 8 **字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。**
- 9 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 木曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**答の番号【1】**

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………**答の番号【2】**
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、奇数をすべて選べ。……………**答の番号【3】**

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号
(2)	(1)		番号
【3】	【2】	【1】	答の番号
ア イ ウ エ オ	ア イ ウ	金 曜日	答の欄
【3】	【2】	【1】	採点欄

共通学力検査					
国語					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

次の文章を読み、問い(1)～(8)に答えよ。(19点)

日本語の「アート」は、「ファイン・アート(芸術)」の略称として使われているわけですが、本来「アート」という概念は、いわゆる「芸術」を超えたはるかに広い意味、「技術」や「技」「やり方」というような意味を持っています。芸術とはそうした技術一般の中の「美しい技術」、言い換えれば何か他の目的に奉仕する手段としての技術ではなく、それ自体が目的であるような技術のことを言います。これがカントによる芸術の定義です。

一方、「アーティフィシャル」という英語には、自然のものではなく「人工の」という中立的な意味の他に、「無理がある」「わざとらしい」といったネガティブな意味があります。人工知能における「アーティフィシャル」は、言うまでもなく中立的な意味です。一方、例えば an artificial smile (アーティフィシャルな笑い) と言ったら、「作り笑い」というような意味です。しかしながら、作った笑いがすべて「わざとらしい」わけではありません。役者は演技で笑うことができますが、優れた演技は作為でありながら、わざとらしくあってはなりません。それは自然の模倣、つまり「本当に笑っているように見える」必要がありますが、さらに言うなら、それ以上が望まれます。つまりおかしい言い方ですが、本物の自然よりも「自然」であるべきなのです。優れた役者は演技で「作り笑い」すらできますが、それは人が何かを誤魔化そうとして思わず見せる「作り笑い」よりも、ある意味もっと「作り笑い」らしくなければなりません。

このように芸術においては、自然と技術との間には単純な対立はありません。むしろ、互いが互いを反映しつつ、相互に作用し合うような関係がそこにあります。自然と技術とのインタラクションこそが、いわば芸術を駆動するエンジンなのです。このことから、機械と芸術との関係について改めて考えてみるなら、そもそも「AIにアートは可能か？」というような問いそのものが、自然^a vs. 技術^b、芸術 vs. 機械といった対立や、そうした対立を自明とする先入観によって、大きく歪められた問題であることが分かります。ナイチンゲールの啼き声をそっくりに真似る少年がいるように、^c 美空ひばり^d がそっくりに歌ったり、^e レンブラント^f がそっくりの絵を描く機械が存在することは、テクノロジーとしては驚くべき達成ですが、芸術的な観点から言うなら、特に驚くべきことではないのです。それは自然を冒瀆するものでも、芸術にとって脅威となることでもありません。むしろ、そうした^g は、芸術表現の可能性を大きく広げる希望と考えるべきです。

重要なことは、「AIは人間の創造行為にとって脅威となる」というような^h 定観念から、早く自由になることです。そのためには、次のような問いを考えてみる必要があるでしょう。すなわち、AIが描いた絵画を私たちがレンブラントによる芸術作品と見間違えるのは、実は私たちがこれまで「レンブラント」の中

【下へつづく】

に観てきたものが、本当は「芸術」などでは少しもなく、単なる「レンブラントらしさ」に過ぎなかったからではないか? という問いです。つまり私たちは、芸術と「芸術らしさ」とを混同してきたのではないか、ということなのです。「らしさ」の認識や構築、つまり事実の持つ複雑で膨大な特徴要素を正確に分析したり、その結果を用いて再構成する能力においては、言うまでもなく人間よりも機械の方がはるかに優れています。だから、そうした競争で私たちがAIに敗北するのは、まったく当たり前のことです。言ってみれば、AIが創造行為にとって脅威に感じられるとすれば、それは、私たち人間自身が創造などしておらず、AIと同じことしかしてこなかったからではないか、ということなのです。AIが人間に挑戦しているように感じるのは、実は私たち人間が自分自身を(能力の劣った) AIとして理解してきたからではないか、と問うべきなのです。

これがおそらく、「アーティフィシャル・マインド」という言葉が持ちうる、^{*} 一つの意味です。それは、私たちが知らず知らずのうちに、自分のこころを「アーティフィシャル」なものとして理解するようになってしまったのではないか? ということです。けれども「芸術」とは、「芸術らしさ」の全体とイコールではなく、むしろその外にある何かです。それと同じように「こころ」とは、アーティフィシャルに実現可能なすべての機能の外部にある何ものかのことです。そしてこのことが、現代のテクノロジーが私たちに教えてくれる本質的な教訓なのだと思います。

(吉岡洋「へこころ」とアーティフィシャル・マインド」による)

注

- * カント…ドイツの哲学者。
- * vs…論争や対話などで相対すること。
- * 美空ひばり…歌手。
- * インタラクション…相互作用。
- * ナイチンゲール…鳥の一種。
- * レンブラント…オランダの画家。

(1) 本文中の ^a 此の 指す内容として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【1】

- (ア) ある目的を達成する手段として用いられる、日本語の「アート」よりはるかに広い意味を持つ概念。
- (イ) 日本語の「アート」という言葉から生まれた、「技術」や「技」「やり方」といった広い意味を持つ概念。
- (ウ) 「技術」や「技」「やり方」といった技術一般の中の、それ自体が目的である技術。
- (エ) 「アート」という略称でよばれている、奉仕することそのものが目的である技術。

(2) 本文中の ^b 本物の自然よりも「自然」について説明したものとして最も適当なもの、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【2】
答の番号

(ア) 自然な状況で浮かんた笑みよりも、優れた演技によって作られた笑みの方が作為であるためわざとらしく見えるということ。
……………【2】

(イ) 自然な状況で浮かんた笑みよりも、優れた演技によって作られた笑みの方が作為でありながら自然に見えるということ。
……………【2】

(ウ) 優れた演技によって作られた笑みよりも、自然な状況で浮かんた笑みの方が無作為であるため自然に見えるということ。
……………【2】

(エ) 優れた演技によって作られた笑みよりも、自然な状況で浮かんた笑みの方が無作為でありながらわざとらしく見えるということ。
……………【2】

(3) 次の文章は、本文中の ^c 誤魔化そう の「誤」という漢字の成り立ちに関して述べたものである。文章中の ^d X・Y に入る最も適当な語を、^e X は後の I 群 (ア)～(エ) から、^f Y は II 群 (カ)～(ケ) から、それぞれ一つずつ選べ。……………【3】
答の番号

意味を表す部分と、音を表す部分を組み合わせることによって作られた漢字は ^d X 文字に分類される。「誤」という漢字は、「^e Y」と同じく、一般的にこの ^f X 文字に分類される。
……………【3】

I 群 (ア) 会意 (イ) 形声 (ウ) 指事 (エ) 象形
……………【3】

II 群 (カ) 紅 (キ) 下 (ク) 鳴 (ケ) 馬
……………【3】

(4) 本文中の ^d 驚く の活用の種類として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(ウ) から一つ選べ。また、^e 驚く と同じ活用の種類である動詞を、後の II 群 (カ)～(サ) からすべて選べ。……………【4】
答の番号

I 群 (ア) 五段活用 (イ) 上一段活用 (ウ) 下一段活用
……………【4】

II 群 (カ) さする (キ) そびえる (ク) 捨てる
(ケ) 渡る (コ) 窮する (サ) 命じる
……………【4】

(5) 本文中の ^e に入る最も適当な表現を、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【5】
答の番号

(ア) 新たな技術的達成 (イ) 単調で機械的な作業
(ウ) 守るべき伝統芸術 (エ) 身の回りの自然現象
……………【5】

(6) 本文中の ^e コ定観念 の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。……………【6】
答の番号

……………【6】

(7) 本文中の ^f 考えてみる必要があるでしょう を単語に分け、次の〈例〉にならって、それぞれの語の品詞を示したものとして最も適当なものを、後の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【7】
答の番号

〈例〉日は昇る …… (答) 名詞＋助詞＋動詞
……………【7】

(ア) 名詞＋助詞＋助動詞＋名詞＋助詞＋動詞＋助動詞
……………【7】

(イ) 名詞＋助詞＋動詞＋名詞＋助詞＋動詞＋助動詞
……………【7】

(ウ) 動詞＋助詞＋助動詞＋名詞＋助詞＋動詞＋助動詞
……………【7】

(エ) 動詞＋助詞＋動詞＋名詞＋助詞＋動詞＋助動詞
……………【7】

(8) 次の会話文は、広実さんと清志さんが本文を学習した後、本文について話したものの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。
……………【8】

広実 筆者は、芸術においては、自然と技術との間には単純な対立はないと捉えているんだね。では、自然と技術は、どのような関わり方をしているかと筆者は考えているのかな。
……………【8】

清志 自然は技術を、技術は自然をそれぞれ ^a A という関わり方をしていると考えていることが、本文から分かるよ。
……………【8】

広実 なるほど。本文では、「芸術」について、「芸術らしさ」と区別して述べられているね。筆者は、事実の持つ複雑で膨大な特徴要素について ^b B ものを、「芸術」だと考えていると解釈できるね。
……………【8】

清志 そうだね。だから、「芸術らしさ」に関しては、人間よりも機械の方が優れた能力を持っていたとしても、「芸術」のような創造行為に関しては、AIが脅威とならないという主張につながるんだね。
……………【8】

広実 こうした「芸術」と「芸術らしさ」の違いを考えることは、テクノロジーの発達した現代において私たちが「こころ」について理解する際の手がかりにもなるね。
……………【8】

① 会話文中の ^a A に入る最も適当な表現を、本文中から十四字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………【8】
答の番号

② 会話文中の ^b B に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、二十五字以上、三十五字以内で書け。……………【9】
答の番号

下書き用
……………【9】

……………【9】

……………【9】

……………【9】

……………【9】

二 次の文章を読み、問い(1)～(7)に答えよ。(19点)

(1)～(7)は、各段落の番号を示したものである。)

1 私たちは人工物が一定の機能をもつという言い方をする。しかし、この「モノが機能をもつ」ということが何を意味するかは難しい問題である。一方で、人工物は人間の活動がないと何の機能ももたない受動的な領域にある存在である。座るという機能を離れて見れば、イスは一個の物理的対象にすぎない。しかし他方、イスがイスとしての機能を果たすのはそれが人間―技術―連関に置かれているからである。そこには設計する人間の抱く目的が決定的な役割を果たしている。例えば、学校前の道路にバンパ^aがあるとしよう。事象Aにおいては、このバンパは子供を守るために作られたものである。ところが事象Bにおいては、このバンパは酷似しており、車を減速させ「子供が車のスピードから守られる」という点でも同じである。しかし、Aにおけるバンパは人工物としての機能を持ち、道徳的価値がある。これに対して、Bにおけるバンパは偶然にバンパの機能を果たしているだけであり、道徳的価値は認められない。(もちろん、Bのバンパを削り取る行為は非道徳的であろうが、それはBを別の事象に作り替えるという別個の行為が問われているのであって、Bのバンパの機能や道徳的価値とは無関係である。) 違いは「子供を守るため」という目的の有無にある。

2 ^aこうした点を捉えて、^{*}クローズらは「人工物の志向性」論を展開する。一般に設計者やエンジニアが関心を持つのは、事物が何であるかということではなく、目標を達成し、機能するためには、事物はどのようなものでなければならぬかということである。設計の過程において設計者は、①人工物にある機能を持たせることを意図し、②事物に関わる科学的知識および技術的知識に基づいて製作される人工物の物理的構造を決定する。そして③こうした知識のおかげで、設計者はこのようにして決定された物理的構造を持つ人工物がなぜその機能を果たしうるかを説明することができるとされる。このようにして人工物に知識が埋め込まれる過程を考えようと、人工物の機能は人間の設計者が意図する目的を指示し、人工物の道徳的な価値は人間が置く目的の道徳的な価値に由来するということになるのである。

3 いま、バンパという単純な人工物を例にしたが、すでに見てきたように人工物が機能をもつという際、たんに「作動する」ということでは十分ではない。へい社会的・文化的世界に置かれた人工物については、人間の身体的・認知的特性などの要件や、安定性、長期性などのほか、安全性や環境への負荷のなさといった

要件が満たされていなければならない。へ2 また、人間の設計者の目的と言うときには、設計者は単数でないのももちろん、目的の設定にあたってのユーザーとの間の対話が含まれるということは、言うまでもないであろう。

4 しかし、この議論では、人工物の機能は設計する人間の意図(志向性)を前提として存在する一方で、この設計者の目的と人工物の機能とのつながりは歴史、状況を超えて存在するとされるが、これに対しては一定の留保が必要であろう。第一に考慮されるべきは、様々なレベルでの予期せざる結果や副作用である。人工物を製作し、使用することにより、物理的・意味的に様々な結果が生じてくるが、その中で何が受け入れ可能な結果で何が深刻なアノマリーであるか、あるいは何が作用で何が副作用であるかという価値評価は、その技術を取り巻くそのつどの技術的・社会的地平の中でなされ、やがて設計に反映されることになる。

5 また、人工物が完全に規定されているということはなく、様々な不確実性や不完全性がそこに含まれている。完全に衝突に耐えうる自動車がない(装甲車でもないかぎり)にもかかわらず、私たちは一定の要件を満たした自動車を日々使用しているように、技術的人工物に求められるのは様々な要求の間での妥協であり、「しかるべき」「相当の」確実性である。また、人工物はすべての状況で一義的な使い方がされるわけではなく、現実を使用する場面になると、「誤使用(misuse)」の可能性やそれにしたがわぬ人の存在があり得る。それが人工物をどのようなものと捉えるかということに変化を与え、進化の方向に影響を及ぼしていくこともたびたびである。それゆえ、人工物が設計者の意図を超えてしまうという問題がある。へ3

6 この点は、文学作品における作者の意図の問題と類似している。ここで、インガルデンが芸術作品について提示した対象の「空白(Jücke)」ないし「無規定箇所(Unbestimmtheitsstelle)」が参考になる。インガルデンによれば、芸術作品は、技術的人工物と同様に、物理的な基礎を背景にして現象するが、鑑賞者との相互交渉のうちで美的対象としての構成が問題となる。芸術作品は、①全面的に一義的に規定されているかどうか、②諸規定が合流して一個の具体的統一をなしているかどうか、③個別的なものであるかどうかという点で、物理的実在とは本質的に異なっている。例えば、「人間」と言っただけではそれが「机」ではないことは分かるが、それがいかなる人間であるかは不明である。かりに「年取った人間」と言ったとしても、若干の無規定箇所は埋められても、なお無数の無規定箇所が残っている。こうしたように、芸術作品はつねに原理的に未完さを含んでおり、たえず鑑賞者による補完を求めざるを得ないのである。理由は多

少異なるが、技術的人工物にも同じことがあてはまる。〈4〉

7 技術的な人工物の場合、芸術作品のような一回的な完結性をもつものではなく、たいていは進化・発展ということを問題にする余地^fをもっている。そうした場合、設計者、制作者と使用者は、人工物をはさんで弁証法的な関係に立つことになる。たしかに人工物は人間による目的の設定からはじまる。しかし、人工物の機能や価値が「何」であるかは設計者の手で一義的に定められるのではなく、使用者の側が参加する対話のなかで、再定義され、よりよい製品への進化へとつながっていくのである。こうした対話は、たんに技術的機能がはたらくかどうかの因果的確認ではなく、文化的、社会的確認であり、価値的な確認でもある。設計者もこの社会的媒介のなかにいて、その方向付けに専門家である設計者という立場から参与するのである。

(直江清隆「ポスト冷戦時代の科学／技術」による……一部省略がある)

注

- * 連関：関連。 * バンプ：車両の速度を抑制する、道路などの上にある障害物。
- * クローズ：オランダの哲学者。 * エンジニア：技術者。
- * ユーザー：使用者。 * 留保：一時差し控えておくこと。保留。
- * アノマリー：異常。 * 地平：物事を考察していく際の範囲。
- * 装甲車：防衛のための装備を施した車両。 * イングルデン：ポーランドの哲学者。
- * 現象する：物事がある形をとって現れる。
- * 補完：足りないものを補って完全なものにすること。
- * 弁証法：対立した二つの事柄を高い次元の結論にまとめる思考方法。
- * 参与：…かわかること。

(1) 本文中の こうした点^a についての説明として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から二つ選べ。

(ア) から二つ選べ。…………… 答の番号【10】

- (ア) 人工のバンプは、自然のバンプと物理的外観が酷似しているが、人間の活動がないと受動的な領域にある存在であるため、道徳的価値が認められないこと。
- (イ) 偶然に機能を果たしている自然のバンプに道徳的価値が認められないこと、人間の目的のために自然のバンプを削り取る行為に問われる非道徳さとは無関係であること。
- (ウ) 人工のバンプと自然のバンプは、外観が酷似し機能も同じであるが、機能が目的によって生じたものかどうかで道徳的価値の有無に違いが生じること。
- (エ) 人工のバンプと自然のバンプは、どちらも人間と技術の関わりのおかげで、同じ機能を果たすため、道徳的価値を認めるかどうかには違いがあること。

(2) 本文中の 基づいて^b と 衝突^d の漢字の部分の読みをそれぞれ平仮名で書け。…………… 答の番号【11】

(3) 本文中の 由来する^c の主語は、本文中の二重傍線部(――)のうちどれか、最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。…………… 答の番号【12】

- (ア) 知識が (イ) 機能は (ウ) 設計者が (エ) 価値は

(4) 本文からは次の一文が抜けている。この一文は本文中の〈1〉～〈4〉のどこに入るか、最も適当な箇所を示す番号を一つ選べ。…………… 答の番号【13】

こうした社会・文化的要件は人工物の機能や意義にとって構成的である。

(5) 本文中の 若干^e の意味として最も適当なものを、次のI群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、本文中の 余地^f の意味として最も適当なものを、後のII群(カ)～(ケ)から一つ選べ。…………… 答の番号【14】

- I群 (ア) いくらか (イ) 半分ほど
(ウ) たくさん (エ) ちょうどいくらい

- II群 (カ) 後に残る影響 (キ) 何かをする機会
(ク) 行動の根拠 (ケ) 働きかける相手

(6) 本文の構成を説明した文として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。…………… 答の番号【15】

- (ア) 1 3 段落は筆者の主張を示し、4 6 段落では筆者の主張を否定する立場の意見を取り上げて、7 段落で新たな主張を述べるという構成になっている。
- (イ) 1 3 段落は話題について考察し、4 6 段落では多角的な視点を用いながら筆者の考えを述べ、7 段落で主張をまとめるという構成になっている。
- (ウ) 1 2 段落は話題を提示し、3 5 段落で問題提起をし、6 段落で具体例を挙げて補足し、7 段落で読者に疑問を投げかけるとい構成になっている。
- (エ) 1 2 段落は話題を時系列に沿って説明し、その話題を 3 5 段落において要約し、6 段落で示した具体例をもとに、7 段落で主張を述べるという構成になっている。

(7) 友斗さんのクラスでは、本文を学習した後、それぞれ意見文を書くことになった。次の会話は、本文について友斗さんたちが先生と交わした会話の一部である。これを読み、後の問い①～③に答えよ。

先生 5 段落に「人工物が設計者の意図を超えてしまう」とあります
が、その理由は何だと読み取れますか。

友斗 それは **A** からだと読み取れます。

先生 そうですね。技術的な人工物は、芸術作品のような一回的な完結性

そうですね。技術的な人工物は、芸術作品のような一回的な完結性をもつものではなく、よりよい製品への進化や発展につながる点をもつと本文から読み取れます。技術的な人工物に関して、よりよい製品への進化につながる点を、芸術作品との共通点を述べたうえでまとめてみましょう。

友斗 はい。技術的な人工物は、芸術作品と同じようにすることで、よりよい製品への進化につながります。このために設計者は、専門家という立場として使用者との対話に参加することが必要だと、本文から読み取れます。

文香 そうすることが「弁証法的な関係に立つ」ことにつながるということですね。

先生 本文についてよく理解できましたね。自分たちの身近なモノを具体例に挙げて、よりよい意見文の構成になるよう工夫してみましよう。

① 会話文中の **A** に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【16】

(ア) 人工物の機能は、設計する人間の志向性を前提としており、設計する人間が人工物の機能に対して抱く目的と、人工物の機能とのつながりについては、これまでの歴史や人工物を設計する状況を超えて存在する

(イ) 人工物の機能は設計する人間の意図を前提として存在しているため、すべての要件を満たすわけではなく、様々な要求の間での妥協が必要とされることや一義的な使い方がされないことが、人工物の捉え方にたびたび変化を与える

(ウ) 人工物の機能は設計する人間の意図と、誤使用や正しい使用方法にしたがわない人がいる可能性という不確実性や不完全性を前提に設計され、そのつどの技術的・社会的地平の中で、物理的・意味的に様々な結果が生じてくることが考慮される

(エ) 人工物の機能についての価値評価は、そのつどの技術的・社会的地平の中でなされ、設計に反映されるうえ、人工物には様々な不確実性や不完全性が含まれており、誤使用や一義的な使い方にしたがらない人の存在も進化の方向に影響を及ぼす。

(二) 会話文中の **B** に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、二十字以上、三十字以内で書け。……………答の番号【17】

下書き用

20

30

③ 意見文 に関する活動においての一般的な注意点として適当でないものを次の(ア)～(エ) から一つ選べ。……………答の番号【18】

(ア) 自分の意見に対する、反対の立場からの意見も想定し、反対の立場に対する反論も考えるとよい。

(イ) 自分の意見は意見文の最初だけでなく最後にも一度まとめて述べることで、自分の立場をより明確にするとうい。

(ウ) 意見を支える根拠となる情報の内容を充実させるために、創作した話題も事実として加えるとよい。

(工) 完成した意見文は、内容を見せ合って、よいと思った点や改善点を伝え合うとよい。

次の文章は、「沙石集」の一節である。地頭が領家の代官に納めるべき年貢について領家の代官と交渉していたが折り合いがつかず、泰時（北条泰時）の前で決着をつけることになった。本文はこれに続く場面である。注を参考にして本文を読み、問い(1)～(5)に答えよ。(12点)

この部分は著作権の関係により掲載していません。

〔新編日本古典文学全集〕による

注

- *御代官…執権。 *領家の方に…領家の代官が。
 *いみじく…たいそうみに。 *成敗…裁決。
 *陳じ申す…釈明を申し立てる。 *よそ…周りの人。
 *領家の御代官…領家の代官。 *陳状…反論。
 *聞きほどき給ひ…聞き分けてくださって。 *ひが事…非道なこと。
 *未進の物…納めていなかった年貢。

(1) 本文中の ^a あはれ負けぬる物を の解釈として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 …… 答の番号【19】

- (ア) ああ負けてしまったなあ (イ) やれやれ負けなかったぞ
 (ウ) おや負けないものだなあ (エ) よし負けてしまおう

(2) 本文中の ^b 物ゆゑに の平仮名の部分をすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。また、次の(ア)～(エ)のうち、波線部(~~~~)が現代仮名遣いで書いた場合と同じ書き表し方であるものを一つ選べ。 …… 答の番号【20】

- (ア) 月にさそはれて (イ) 虎にあひて逃ぐる事
 (ウ) 年月を送り迎ふるにも (エ) すでにほろびたり

(3) 本文中の ^c 互ひにきもと聞えきの 解釈として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 …… 答の番号【21】

- (ア) 地頭と領家の代官のどちらにも、泰時の考えは納得できるもののように聞こえた
 (イ) 領家の代官と泰時のどちらにも、地頭の考えは納得できるもののように聞こえた
 (ウ) 泰時には、地頭と領家の代官の考えはそれぞれ納得できるもののように聞こえた
 (エ) 地頭には、領家の代官と泰時の考えはそれぞれ納得できるもののように聞こえた

(4) 本文中の ^d にがりて とは、「ぼつが悪い顔をして」という意味であるが、「咲ひつる人々」がぼつが悪い顔をした理由として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 …… 答の番号【22】

- (ア) 自分たちの反応について泰時から注意を受けたから。
 (イ) 自分たちの反応と泰時の反応がまったく異なっていたから。
 (ウ) 自分たちの方が泰時を差し置いて先に反応してしまったから。
 (エ) 自分たちの反応が泰時の裁決に思わぬ影響を与えたから。

(5) 次の会話文は、秋子さんと岳史さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

秋子

領家の代官が述べた「肝心の道理」を聞いた地頭が反論せずに ^A ことを、泰時はみごとだと思ったことが、本文からわかるね。

岳史

うん。さらに泰時は、地頭を ^B だとも評していたよ。泰時は、長年執権として裁決をしてきたけれど、地頭のような人を見たことがなかったと発言していることが、本文から読み取れるね。

秋子

なるほど。そして、^C ことから、「負けたればこそ勝ちたれの風情」と本文で述べられていると解釈できるね。

① 会話文中の ^A ・ ^B に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、^A は五字以上、七字以内で、^B は四字以内で書け。 …… 答の番号【23】

下書き用 ^A

5	7	^B
4		

② 会話文中の ^C に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 …… 答の番号【24】

- (ア) 地頭と泰時の間にあった誤解が、問答を通してとけた
 (イ) 道理を聞き分けてもらった領家の代官は、非道な行いから救われた
 (ウ) 泰時は情けある裁決をする人だと周りの人から称賛された
 (エ) 地頭は納めていなかった年貢のうち三年分を免除された

共通学力検査 国語 答案用紙

[illegible]

共通学力検査	
国語	
受付番号	
得	点

